

經濟論叢

第109卷 第3号

山岡亮一教授記念號

献 辞	降 旗 武 彦	
經濟成長と貧困	島 恭 彦	1
朝 鮮 紀 行	松 井 清	19
西ドイツ農業の構造変化	大 藪 輝 雄	39
マルクスの「個人的所有」論について	福 富 正 実	58
ビスマルク体制期のシュレーゲン州における エンカー的土地所有	大 月 誠	76
現代アメリカ農業における不動産抵当債務	中 野 一 新	103
沖縄におけるドル切替え	小 野 一 一 郎	131

山岡亮一 教授 略歴・著作目録

昭和47年3月

京 都 大 學 經 濟 學 會



· 山西亮一教授近影

山岡亮一 教授 記念論文集

献 辞

山岡亮一先生は、今年の2月10日をもって満63歳となられ、今春3月31日、経済学部の教壇から退かれることとなりました。

先生は、まだお若い講師のころに、二度にわたる応召のため、研究生活を中断されるのやむなきに至りましたが、御無事で復員されてからは再びお元気で京都大学の教壇に立たれ、多くの秀れた子弟の御訓育に、自らの御研究に、はたまた学内外の御活躍を通して、御立派な業績をお残しになっておられます。

御研究の面では、戦前には主として農業経済学の古典の研究に専念され、戦後は、農地改革という日本農業の一大転換を身をもって経験されてから、農業問題の現状分析に強い関心を抱かれ、再度にわたる海外への御出張もこのような御関心からであり、わが国においては、昭和23年の農地改革実態調査を手はじめとして、多くの農村調査を手がけられ、自らの眼で見、足で確かめるといふ、事実から出発する先生独特の学風に基いて多くの秀れた報告書をまとめられました。このような御研究の成果を、昭和37年に、学位論文である「農業経済理論の研究」としておまとめになっておられます。

先生はさらに、土地制度史学会の理事として、また京都府農業問題協議会会長として、学会の発展に、はたまた多くの問題を残す地方農業問題の解決に尽された御功績は多大なものがありますが、これは芯から農業を愛される先生のお人柄の発露と申せましょう。

私共は、先生が今後ますます御健康で、学界のために、また日本農業のために御活躍なさいますことを心からお祈りいたします。

昭和47年2月10日

経済学部長 降 旗 武 彦